

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	はあとびあ21 アリス		
○保護者評価実施期間	8 年 1 月 10 日 ～ 8 年 1 月 20 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	8 年 1 月 20 日 ～ 8 年 1 月 24 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	8 年 1 月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども1人1人の好きな事（遊び・活動）を把握し可能な範囲で取り組める環境を提供している。	空間を「静かに過ごす場所」「体を動かす場所」で区切り、活動ごとに環境を整えて取り組んでいる。（参加できない子どもも落ち着いて過ごすスペースが取れている）	1人でも多くの子どもが参加できる活動内容を検討し実行する。
2	「夏祭り」「クリスマス会」などのイベントを子ども主体で行っている。	準備の段階から参加できるよう活動に取り入れていき、「はじめの挨拶」「終わりの挨拶」を担当決めることで当日のやる気に繋げている。	子どもが考えたイベントを実現する機会があるとより自主性に繋がって良いと思われる。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の年齢層が高く、子供からの要望（体を使った遊び・新しい遊び）に応えることが難しい時があること。	若い職員が少ないため自主的に動きにくい様子がみられること。	若い職員が得意とする活動を設定していき計画から主体的に動ける機会を提供していく。
2	外出する機会が少ないこと。	子どもの特性と安全面を考慮すると最低限の回数で設定している。	夏休みを利用した外出の他に、小グループでの外出の機会を設けることができるように安全面（場所・帯同職員等）について検討していく。
3			